

敦賀市都市計画マスタープラン策定に係る地域別説明会 ～松原地域～ 開催結果

■開催概要

開催日	時間	場所	参加人数	アンケート回収数
1月29日(水)	19:00～20:30	松原公民館	9人	6枚

■参加者からの意見等

	意見	回答
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> バスを利用したい時間と運行時間が合わず、駅に行ってもバスで帰れないため、バス利用は難しい。 バスの時間帯を密集して、利用者が使いやすいような工夫をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> バス再編計画を作成し、時間帯や本数の変更など対応を行っている。 今後、利用者の満足度が上がるように、随時見直しをかけていきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> バス停が散っていて、どこを利用すれば良いか、分かりづらい。 駅についても、どこからのバス停から乗ったらいのかが分かりづらいため、もう少し分かりやすくしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> バスの担当部局に意見があったことを伝達し、少しでも分かりやすいような形でお知らせするように伝える。
	<ul style="list-style-type: none"> 富山市の公共交通の扱い方を参考に進めてほしい。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> 立地適正化計画に記載されているハブに、バスターミナルか何かができる予定か。 	<ul style="list-style-type: none"> ターミナルまではできないが、色々な路線が重なっている場所をハブとして記載している。 現在、駅、市役所、ハブの3つの拠点を公共交通網で結ぶイメージである。
空き家	<ul style="list-style-type: none"> 空き家の除去には費用がかかることが現状であるが、まちには相当数の空き家が残っているため、対策に力を入れてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 市の空き家対策計画は安全対策面が大きいですが、個人の財産に行政が手を出すことは法律上難しいのが現状。 解体補助などもあるので、積極的にPRするよう、担当課に伝達する。
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> 現行計画の将来地域構造図では、櫛川のところが工業集積ゾーンとなっているが、工場を呼び込むイメージか。 住宅が集まっているため、住宅と工場が混在するような形になるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 実際の土地利用状況とは異なっている部分があり、今回見直しをかけた。 農地保全ゾーンとして井の口川西側に記載しているが、この辺りは宅地化が進んでいるため、併せて見直しをかけた。
	<ul style="list-style-type: none"> 櫛川地域が環境保全エリアのようなイメージを持っていたが、現状と合っているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> エリアの書き方が大体で分かりづらいが、実際の用途地域は住居が建てられる用途になっている。
	<ul style="list-style-type: none"> 用途地域の工業系は、企業に対し、いつでも使えるといった状態の土地ではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内の工業系は既に工場が立地しており、新しく進出しようと思うと中々難しい部分がある。 準工業地域は、工場以外に住宅や小売店なども建築可能となっているが、工業系の土地利用を整理する必要がある。 住工混在する所は、今回の見直しの際に、住居系にする、もしくは工場用地を別場所に指定していくことを考えている。

土地利用	<ul style="list-style-type: none"> マスタープランの中でゾーンを定めたら、法律上何年間は無変えられるということはあるのか。 計画を立てても、工業地から商業地に変わるようなことがあるのではないか。 櫛川の永大の辺り、県の貯木場の辺りも同様になるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 永大産業や貯木場辺りは工業専用地域で、工場しか建てられない場所になっている。 マスタープランでゾーンを決め、それに基づき、用途地域を指定する流れになる。 用途地域の見直しにあたっては、現況の土地利用などを考慮しながら作業を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> 貯木場の跡の辺りは工業系になるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 貯木場の辺りは工業地域で、その周辺の田んぼには特に用途規制がかかっていないため、住宅の建築が可能である。
	<ul style="list-style-type: none"> 住居系の地域は結構道が細くて、住居としてやっていけないから、南の方へと移り住んでいくことから、このマスタープランに無理があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 昔からあるまちは道が狭くて大変暮らしづらいついていて、生活環境の改善に努めるといことを謳い、最終的には道の拡幅等に繋がってほしい。
計画	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープランは、これが上位のものではなく、色々な意見を聞いて柔軟に対応するもので、10年後に見直し、20年で達成する計画という理解でよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 市の中では総合計画が最上位計画となっており、それと県策定のマスタープランと両方とも整合性を図っていく必要がある。 都市計画マスタープランは土地利用の方向性を決めるのが主な目的となっており、バス再編計画や観光振興計画等のソフト的な部分を定めている計画とも整合性を図りながら策定していく。
	<ul style="list-style-type: none"> 住みやすくするためにはソフト対策が一番大事かと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画の中でこういったまちにしたいということを謳っていく必要がある。 立地適正化計画の中で、出来れば北側に住んでもらいたいという方針を示し、具体的なソフト事業を行っているが、成果が伴っていないのが現状。 新たな計画では、立地適正化計画の方針に合わせた形にしてほしいと考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> 「スポンジ化」、「スプロール化」とは何か。 言葉を見ただけでは分からないため、もう少し分かりやすい言葉で説明してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「スポンジ化」とは、まちの中で人が減り、家が無くなっていくことで空白地が広がること。 「スプロール化」とは、虫食い状態に農地の宅地化が進むこと。 計画では、注意書きにより分かりやすく説明する。
市民説明会	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民に対し十分な説明をしないと納得しない。 良いビジョンを描くためには、行動が大事であり、それと併せて、予算等の説明もしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 色々なデータやアンケート結果だけでなく、実際に地域住民の生の声を少しでも計画の中に反映していきたいので、各地区を回り、何を大切に思っているのか、何を課題だと感じているのかをすくい上げることが出来ればと考えている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 新木崎通りは、商業施設があり非常に便利だが、車の出入りが非常に激しく、小さい子どもを一人で歩かせると危ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 新木崎通りは、大きな道沿いに商店が張り付く形で発展してきたが、都市計画的なものでの対応は難しい。 安全性の向上においては、警察等と協議しながら対応していきたい。

敦賀市都市計画マスタープラン策定に係る地域別説明会 ～松原地域～ 開催結果

■アンケート集計結果

参加者からアンケート形式で意見等を聞き取り。

▼地域にふさわしいキャッチフレーズ（回答数：5人）

- ・絆の町 ・気比の松原、青い海、白い砂の松原
- ・おもいやり（人道的歴史から）の敦賀
- ・美しい山（森）、川、海とともに生活出来る所
- ・みどり溢れる文化教育・研究・スポーツ環境の松原地区

▼地域から連想されるキーワード（回答数：6人）

- ・気比の松原(4) ・松 ・西福寺(2) ・海(2) ・ふるさとの海
- ・自然 ・花火大会 ・スポーツ ・文教地区(2) ・清掃センター
- ・運動公園 ・ヒゴイの泳ぐ井ノロ川

▼現在、感じている地域の課題・問題点（回答数：5人）

空き家	<ul style="list-style-type: none"> ・安全対策のため、空き家を解体してほしい。 ・人口減、空家増、活動人員減少が見られる。
道路	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの利便性が悪い、利用し難い。 ・バス利用の際、利用時間帯が全然合わないため、駅からバスで帰って来ることができない。 ・バスの時間を密集して、みんなが使いやすいように工夫すれば、公共交通機関を利用してもらえるのではないか。
公共施設	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が集まる場所がほしい。（学校が多い運動公園） ・児童の面倒を高齢者が見るような施設があればよい。児童と高齢者、児童の保護者も助かる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・気比の松原を主とした観光、三大松原の活用。

